

NPO 法人

# 水都東京を創る会

2012 年

第 4 期前半（4 月～9 月）舟運イベント実施報告



### “春うらら隅田川クルージング”

2012年3月31日(土)・4月1日(日)

和泉橋防災船着場～柳橋～隅田川～吾妻橋(東京スカイツリー)～桜橋～柳橋～和泉橋防災船着場

荒天のため3月31日(土)は、欠航を決定。申込みされた方々には、大変ご迷惑をお掛けしました。4月1日は晴れて穏やかな天候になり、人の出もますますでした。ほとんどの桜はまだつぼみで、早咲きの桜が何本か確認できました。隅田公園などでは、気の早い花見客が河岸に陣取り、川辺の景色と行き交う船を見て楽しんでいました。

受付準備



ダブルスカイツリー(墨田区役所前)



ガイドにも力が!!



いざ、出航



平成中村座



行き交う船に手を振る

### “千代田区桜クルージング”

2012年4月7日(土)・4月8日(日)

和泉橋防災船着場～万世橋～聖橋～お茶の水溪谷～水道橋～鎌倉橋～お茶の水溪谷～和泉橋防災船着場

天候には恵まれましたが寒気の影響で、肌寒い日となりました。潮回りの関係で、幾つかの便で、隅田川に出るコースに変更になりました。大変ご迷惑をお掛けしました。また、7日は思いがけない寒さで、乗船された方々もガイドも震えながら帰還するという事態になりました。8日は陽射しもあり、暖かさが戻り、桜は満開、人の出は最高潮でした。

隅田川、浅草の河岸

船から溢れんばかりの人!!

桜と東京スカイツリー



小名木川河岸の桜並木



聖橋・御茶ノ水駅の下を進む船団



一ツ橋で江戸城の石垣の解説



宝田橋で手を振る人達



7イガーデン下で船長新倉さん



組板橋で手を振る人達



第66回岩本町・東神田

### “ファミリーバザール”

～東京スカイツリークルーズ～

2012年5月26日(土)・27日(日)、6月2日(土)・3日(日)

和泉橋防災船着場、am11:00～pm3:00 1時間毎に5便(約45分の舟遊)

和泉橋防災船着場～柳橋～隅田川～吾妻橋(東京スカイツリー)～柳橋～和泉橋防災船着場

受付準備

毎年恒例となり、常連のお客さんも出て、定着しつつある「ファミリーバザール」の「東京スカイツリークルーズ」。今年  
は天候に恵まれ、はじめて4日間休み無しで運行し、どの便もほぼ満席という盛況ぶりでした。延べ約1,400人近い方々が乗船し、子どもガイドの案内を楽しんだこととなります。町会の実行委員会との連携もスムーズで、運営も円滑に行われました。ただ、水上オートバイの団による無謀な走行や船着場に繫留し上陸しようというような行為があり、今後はこれらにどのような対応をするかが課題となっています。

繫留・上陸しようとする水上オートバイ



水上オートバイの群団

いざ!乗船。足下に気をつけて!!



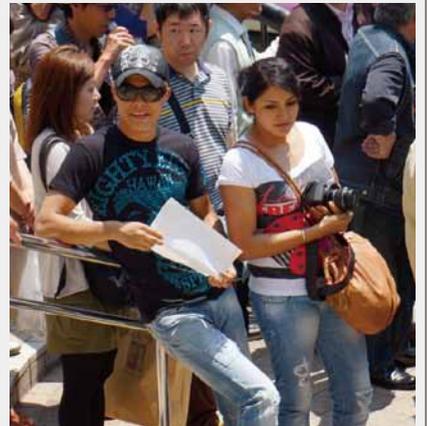
屋形でガイド、熟練の技!!



ダブルスカイツリー(墨田区役所前)



亀田和毅さんもガールフレンドと…乗船



### NPO 法人水都東京を創る会

#### 第4期(平成24年度)総会

2012年6月7日(木) pm6:30～7:00 日本橋十思協働ステーション

本会の第4期総会が十思スクエアで開催されました。議案は5つで、すべて参加者の拍手を持って承認されました。その後「ホテルかずさや」の「レストランレーヌ」で懇親会を行い、普段お会いできない方々も含めて、ご意見をお聞きし、情報交換するなど、楽しく懇談することが出来ました。

総会が開催された十思スクエア2F

懇親会で懇談



総会で議長を務める須永副理事



# 水都東京を創る会

## 2012年 6月の舟運イベント

### “水と石垣から見る大江戸三百年”

～経験豊かなガイドによる江戸外濠とお台場を巡る舟運歴史ツアー～

天候に恵まれ、今年（2012年）の石垣ツアー（通称）が、初めて日本橋船着場から出航しました。予約受付も午前の便95名、午後の便に93名と、各3隻ともに満席となりました。乗船受付・誘導の準備も万端、ガイドは各自解説内容を配付資料（長谷川理事作成）の活用を念頭に置いて復習していました。潮目の関係から午後の便のルートが、予定ルートの逆となりましたが、そこは熟練ガイド・スタッフの機転で難なく乗り越え、無事にイベントを終えることが出来ました。三浦屋さんのご厚意で、第10三浦丸で浜離宮庭園前に停泊し、ガイド・スタッフと理事、カリフォルニア大学の東洋学科デッド・ファウラーさんの参加もあり、打ち上げと意見交換会を行いました。また、三浦屋さんの新造船への大漁旗の贈呈し、記念撮影。いつもながら今回も、三浦屋さんをはじめ平井さんや大江戸さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。ありがとうございました。

2012年6月24日（日）、日本橋船着場  
午前便 10:00 出航、午後便 1:00 出航、各3隻  
日本橋防災船着場～常磐橋～江戸城外濠～隅田川～  
お台場～亀島川～日本橋船着場



受付準備、船の運行、受付・乗船誘導・ガイドの確認



日本橋滝の広場で受付開始、関根・清水の女性陣も活躍



手を振る野球少年



乗客に解説する大松理事長代行



新たな航路、芝浦運河・芝浦アイランド



TVハーバー手を振るアベック



第10三浦丸船長新倉、ガイド長谷川、補佐高田



大江戸丸船長中沢、ガイド早瀬、補佐片桐

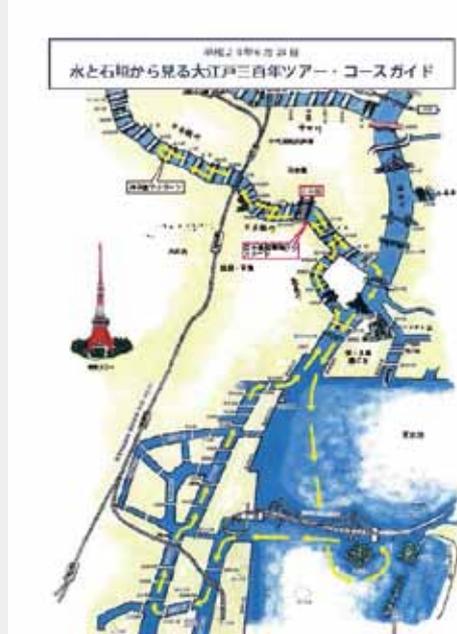


東海道丸船長平井、ガイド岡田、補佐高柳

配付資料：表紙

配付資料：MAP（長谷川理事制作）

三浦屋さんの新造船を祝って大漁旗の贈呈



浜離宮で記念撮影



ECO EDO 日本橋 2012 ～心で結ぶ、日本の涼～ 連携イベント

### “にほんばし納涼クルーズ”

本当に心配しました。開催時の天気と申し込みのキャンセル。午前中から日本橋滝の広場におけるテント設営、昼過ぎから受付対応、夕方から呼び込みとスタッフとガイド総出で対応する中、風が強くなったり雨がパラついたり、客足が悪いだろうなというのが大方の予想でした。しかし、何とか1便の出航から2便の帰港まで天候が持ち、連絡なしのキャンセル1組2人、連絡ありのキャンセル2組3人、1便は20名しか予約が無かったところ呼び込みで15名追加の35名、2便は50名の満席となり、乗船客も当初予想していた会社帰りのサラリーマンのグループというのが、2便では若いOLの方々が多く、華やいだ船内、運行となりました。

舟運ルート：日本橋防災船着場～隅田川～吾妻橋（東京スカイツリー）～日本橋船着場 第8三浦丸

ECO EDO 日本橋 2012 連携イベント ～心で結ぶ、日本の涼～

# にほんばし 納涼クルーズ

## 7月12日（木）参加者募集！！

**日本橋船着場** 1便：18時00分～19時10分  
2便：19時20分～20時30分

航路：日本橋船着場～豊海橋（隅田川）～清洲橋～両国橋～吾妻橋（東京スカイツリー）～日本橋船着場 約70分  
屋形船：第8三浦丸（定員50名）  
乗船代：1,500円 雨天決行  
（別途船内でビール&枝豆セットなどの販売）  
\*アルコールなどの持ち込みはご遠慮願います。

\*中学生以上、申込みは代表者を入れて5名様とさせていただきます。



第1便の乗船客の皆様



第2便の乗船客の皆様



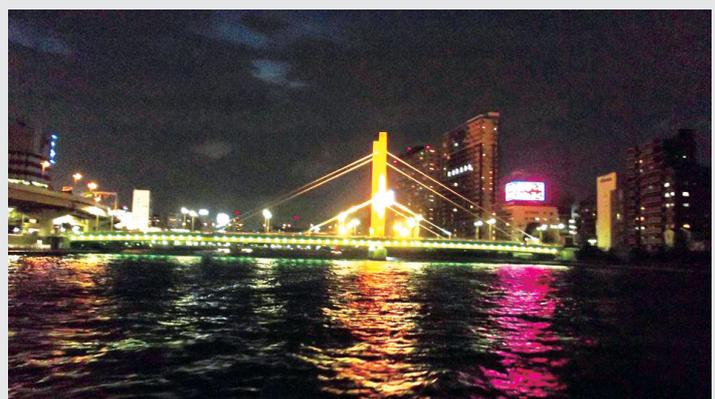
第2便の船内



日本橋船着場から出港する第10三浦丸



にほんばし納涼クルーズ 案内板



ライトアップされた新大橋



東京スカイツリーと屋形船

主催：NPO 法人水都東京を創る会 連携：ECO EDO 日本橋実行委員会  
後援：日本橋地域レナッサンス100年計画委員会 名橋「日本橋」保存会

NPO 法人水都東京を創る会ホームページから  
も申込みできます。  
<http://suito.or.jp/>

◎写真はクルーズのイメージです。

## “ハゼ釣り大会 in 亀島川” 2012年8月8日(水) ～生物の生息調査～ 亀島川/午後1時集合

糸井理事の提案で、亀島川における生物の生息調査の一環として“ハゼ釣り大会 in 亀島川”を開催。本会から10名ほどの参加があり、まだ盛夏の日差しが強い亀島川の岸辺から釣り糸を垂れ、約2時間ほど粘りましたが、釣り糸にかかる魚はなしという結果になりました。中央区からは環境土木部長の宮本氏も見学に来て頂きました。これにめげずにNPO法人として、河川環境の課題にも取り組むことが望まれています。この結果にあきらめきれず何人かは、小名木川のつりポイントに出かけ、かなりの釣果をあげた模様。

参加者記念写真、右手から3人目が宮本部長



釣り糸を垂れる糸井理事

釣れないなあ!!



## “ゆらり遊覧スカイツリー”

～神田川リバーサイドプロジェクト立ち上げ記念～

神田・岩本町地域の町会などの地元が中心となり、和泉橋防災船着場を拠点として神田川、隅田川、日本橋川などの河川を活用した地域活性化を図るために、“神田川リバーサイドプロジェクト”を立ち上げました。本会ではこれに参加するとともに、立ち上げ記念として、三浦屋さんの新造船“粹人丸”で和泉橋防災船着場から“ゆらり遊覧スカイツリー”の舟運イベントを開催しました。最終便には、神田川リバーサイドプロジェクト立ち上げに参加した方々で船に乗り、神田川、隅田川の水辺からの納涼と東京スカイツリーの夜景を楽しみました。

2012年8月24日(金) pm4:30～6:30/3便

舟運ルート：和泉橋防災船着場～神田川～隅田川～吾妻橋(東京スカイツリー)～和泉橋防災船着場 粹人丸



### ゆらり遊覧スカイツリー

平成24年 8月24日(金) 開催  
乗船代 大人1,000円/子供500円  
受付 和泉橋防災船着場

新造船“粹人丸”

和泉橋防災船着場を出航し、神田川を下り隅田川へ、めざすは東京スカイツリーのビューポイント吾妻橋。経験豊かなガイドと新造船“粹人丸”による45分間のプチクルーズ。

ダブルスカイツリー

●実施概要  
開催日 平成24年8月24日(金)  
コース 和泉橋の吾妻橋(約45分)  
乗船代 大人1,000円/小学生500円  
(小学生未満不可)  
使用艇 粹人丸(定員50名/三浦屋)  
予約 当日のみ和泉橋防災船着場受付

●運航時間(1日:3便)

便名	和泉橋発	和泉橋着
1便	16:30	17:15
2便	17:30	18:15
3便	18:30	19:15

主催：神田川リバーサイドプロジェクト  
共催：NPO法人水都東京を創る会/千代田区観光協会 実施：アルプス観光 東京都和泉橋事務所 3-722号  
問い合わせ：〒101-0032 千代田区岩本町1-2-13 水都ビル3F Tel 03-5823-0441

和泉橋防災船着場から出航する“粹人丸”



“粹人丸”で挨拶する都築会長



**“ゆらり遊覧日本橋”** 2012年 日本橋船着場  
9月15日(土)/16日(日)  
舟運ルート：日本橋船着場～日本橋川～隅田川～清洲橋(東京スカイツリー)～亀島川～日本橋船着場 使用艇：新造船粋人丸

本会において、「水と石垣から見る大江戸三百年」(通称石垣ツアー)とともに、年間のイベントの顔の一つとして位置づけようとしている「ゆらり遊覧日本橋」が9月の中旬の3連休のはじめ、9月15日(土)と16日(日)に開催されました。ただ、インターネットでの予約は芳しくなく、メンバーで必死のピラマキを前日まで敢行するとともに、当日も早くから集まり日本橋を行き交う人々に声をかけていました。幹事メンバーの中では既に赤字覚悟という声すら聞こえていました。いざ蓋を開けてみると、最初の1便と2便が7～8割程度と出だしは良くなかったのですが、3便以降、どこから人がこんなに集まってくるのかというくらいの盛況ですべて満席。2日間で約640人の方々が乗船されました。この中には、長谷川理事と親交のあるカルフォルニア大学のテッド・ファウラー教授の日本での教え子、ICU(国際基督教大学)の留学生40名程をご招待しました。また、地元からも日本橋中学校のPTA会長と教務主任のご家族をご招待しました。

参加したスタッフは「ゆらり遊覧日本橋」が終わり、心地よい達成感とともに、「日本橋」の持つ底力を見せつけられたような不思議な感じでした。

## 第3回 “ゆらり遊覧日本橋”

9月15日(土)/16日(日) 2回開催

新造船“粋人丸”で、めざすは東京スカイツリーのビューポイント清洲橋。川風に吹かれ亀島川を回って日本橋へ。経験豊かなガイドによる45分間のプチクルーズ。地元老舗の特典クーポン券をご進呈。(雨天決行)



●運航タイム(1日:7便)

便名	日本橋発	日本橋着	便名	日本橋発	日本橋着
1便	12:00	12:45	4便	15:30	16:15
2便	13:00	13:45	5便	16:30	17:15
3便	14:00	14:45	6便	17:30	18:15
休息30分	14:45	15:15	7便	18:30	19:15

主催：NPO法人水都東京を創る会  
後援：名橋「日本橋」保存会・東京屋形船連合会  
日本橋地産ルネサンス100計画委員会  
中央区観光協会  
連絡先：NPO法人水都東京を創る会 〒101-0032 千代田区岩本町1-2-13 渡米ビル3F Tel 03-5823-0441



受付で笑顔と裏腹に内心ヒアヒア



賑わい始めた滝の広場



集まり始めた乗客の皆様。日本橋中学校の関係の方も…。



第1便、早瀬さんのガイドで始まる



第3便、片桐さんのガイド。



日本橋を渡る新造船“粋人丸”と新倉船長



ICUの留学生の皆様。下段左からテッド・ファウラー教授、片桐さん、長谷川理事、大松理事長代行

前略  
先日は、水都東京を創る会主催の「ゆらり遊覧日本橋」に参加し、大変素晴らしい体験をさせていただきました。江戸の歴史と文化を感じることができ、また、地元の方々と交流することができました。この機会に、水都東京を創る会に感謝の気持ちを込めて、このように書きました。今後とも、水都東京を創る会の活動に協力させていただきます。よろしくお願いいたします。  
テッド・ファウラー  
2012年9月15日

後日、テッド・ファウラー先生から、達筆で大変丁寧な礼状が本会宛に届きました。日本には足繁く訪れているということなので、また、よろしくお願い致します。